

放送大学山梨学習センター 特別講演会

「徳川家康と武田氏」の開催

放送大学山梨学習センターでは、放送大学山梨学習センター同窓会共催・山梨県立図書館後援により、令和5年10月1日（日）午後2時から、山梨大学甲府キャンパス教育学部M号館M-12教室において、特別講演会「徳川家康と武田氏」を開催しました。同講演会は、職員を含め66名が聴講しました。

講演会では、健康科学大学特任教授でありNHK大河ドラマ「どうする家康」時代考証担当の平山優氏が、「徳川家康と武田氏一家康にとっての元亀・天正争乱」と題し講演を行いました。

平山氏は、「元亀・天正争乱とは何か」「元亀争乱の発生と家康」「牙を剥く武田信玄」「危機に陥る三河」「家康の反撃と苦戦」「分水嶺」「信康事件と戦局の転換」「高天神崩れと武田氏滅亡」などについて、詳細に解説を行いました。地図上での位置関係の確認、講師自身の撮影による現地写真の紹介など、スクリーン画面を多く用いた解説が行われました。参加者は、平山氏の流れるような解説に、時間の経過を忘れ聴き入っているようでした。講演後には、質疑応答の時間も設けられました。



会場入口



講演する平山氏



講演会の様子

参加者からのアンケートでは、「とても興味深く、タイムリーな内容でした。平山先生と甲斐国とのつながり等、山梨につながるお話でも楽しく学ぶことができました。」「徳川と武田の戦について細かく解説していただき、より深く理解できました。」「家康と武田氏の具体的な侵攻ルート、戦いについて、お話を初めて聞かせて頂き勉強になりました。」「大変興味深く聴講させて頂きました。歴史の奥深さを教えて頂いたように思いました。」「おもしろく有意義な講演でした。ありがとうございました。」などの感想が寄せられました。